

知っていますか？ 卵巣のはたらきと その病気

PROGRAM

開会のあいさつ

日本産科婦人科学会千葉地方部会 会長
吉田幸洋 先生

講演

1. お教えします、
卵巣の役割とホルモン異常
医療法人社団 慈幸会さち・レディースクリニック 院長
金田幸枝 先生
2. あなたの卵巣は大丈夫？
卵巣のう腫のチェックと治療
帝京大学ちば総合医療センター 教授
梁 善光 先生
3. 卵巣がんをぶっとばせ!!
千葉県がんセンター 婦人科 部長
田中尚武 先生

質疑応答・総合討論

総括

閉会のあいさつ

日本産婦人科医会千葉県支部 副支部長
河村 堯 先生

〈司会〉今村優理子 氏
(リポーター・MC・コメンテーター)

定員
500名

2009年 3月7日 [土]

14:00～16:30 (開場13:30) 入場無料

千葉市文化センター

3Fアートホール

〒260-0013 千葉市中央区中央2丁目5番1号

知っていますか？ 卵巣のはたらきとその病気

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会では毎年3月1日から8日までを「女性の健康週間」と定め、各県ごとにこの時期に市民公開講座を開催しています。千葉地方部会では、今回はこのテーマとして「卵巣」を取り上げてみました。

子宮がん検診、乳がん検診は、以前より各自治体が中心となって市民の皆さんに受診を勧めて内容も充実していることもあり、一般の皆さんの認知度も高いようです。一方、「卵巣」は女性にとって欠くことのできない臓器であるにも関わらず、意外と馴染みがうすく、いきおいその病気についての知識も乏しい方が多いようです。

たとえば、女性ホルモンを唯一分泌する身体の臓器はこの「卵巣」であり子宮ではないこととか、赤ちゃんの基である卵細胞は生まれたときからすでに「卵巣」の中に数多くのが眠っていてこれを初潮から閉経まで少しずつ排卵していることなどはあまり知られていません。また、病気にしても卵巣のう腫は若年者から高齢者まで常に発症する可能性があることや治療法も進歩していることとか、卵巣がんが女性の死亡原因の第10位に位置し近年増加傾向にあって産婦人科で検査をすれば早期発見が可能なことなど、皆さんに聞いてほしいことは数限りなくあります。

今回はこれら「卵巣」に関連するトピックスを一般市民の皆さんに正しく理解していただき、その中での産婦人科医の役割をお知らせするために県内のそれぞれの立場を代表する方々の講演を企画いたしました。

司会

今村 優理子氏

(リポーター・MC・コメンテーター)



兵庫県宝塚市出身。
大学卒業後、私立高校の音楽教師として教壇に立つ。

昭和53年4月から番組終了までの7年7ヶ月、テレビ朝日「アフタヌーンショー」のMC・リポーターとしてレギュラー出演。その後、TBS「モーニングEYE」などワイドショーを中心に活躍。平成4年に40歳で娘を出産。妊娠9ヶ月までリポーターとしてマイクを持ち、出産後2ヶ月で現場に復帰する。

これまでに、テレビ出演・ライブ活動・執筆活動・イベント等の司会・講演など、分野を問わず幅広く活躍している。

【著書】「ふたつの結婚指輪」(エッセイ)

会場地図



- 電車ご利用の場合
 - JR総武線「千葉駅」下車徒歩10分
 - 京成千葉駅「千葉中央駅」下車徒歩10分
 - 「霞川公園駅」下車徒歩3分
 - 「千葉銀行中央支店前」バス停下車徒歩1分
 - 「中央2丁目」バス停下車徒歩3分
 - 京葉道路「穴川インターチェンジ」から約20分
- 千葉都市モレールご利用の場合
 - 「霞川公園駅」下車徒歩3分
- バスご利用の場合
 - 「千葉銀行中央支店前」バス停下車徒歩1分
 - 「中央2丁目」バス停下車徒歩3分
- 車ご利用の場合
 - 京葉道路「穴川インターチェンジ」から約20分